

## 鏡視下手術の現状と未来

司会 九州大学臨床・腫瘍外科  
慶應義塾大学医学部外科学教室

永井 英司  
北川 雄光

消化管悪性腫瘍に対する鏡視下手術は広く受け入れられ、標準治療となりつつある領域もある。しかしながら各臓器で適応拡大、再建法など議論すべき点も多く残されている。適応拡大のためには安全性と根治性が確保されなければならない。また再建にも安全性は重要な問題である。安全性と根治性を確保しながら今後更に鏡視下手術を広めるための問題点を提示し、議論頂きたい。